

保護者様

千曲市教育委員会
千曲市立戸倉上山田中学校長 小池 隆

レベル5「医療特別警報」発出に伴う今後の教育活動について

各ご家庭では、長期間にわたり、感染拡大防止のための対策を継続して実施していただき、改めて感謝申し上げます。

さて、昨日、長野県は、新型コロナウイルスの感染「第7波」拡大による感染者の急増を受けて確保病床使用率が35.6%に達し、医療提供態勢への負荷が高まっていることから、医療アラート「医療特別警報」を発出し、感染警戒レベルも「4」から「5」に引き上げました。

これに伴い、BA.5系統の特性から現時点で本県においては重症者が発生していないことを踏まえて、県立学校の当分の間の対応についての通知(令和4年7月28日)がありました。

つきましては、通知に基づき、学校では「**各教科、学校行事、部活動について、感染リスクの高い活動の実施は慎重に検討し、感染防止対策を講じた上で可能な限り実施するが、感染拡大防止のための措置を講じても、安全な実施が困難な場合は、中止又は延期する**」という対応をしております。下記のように対応しておりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、今後、感染が拡大し「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」となった場合には、別途、学校の対応をご連絡します。

記

【学校・学年行事等】 ※PTA主催の行事も含まれます。

- ・感染防止対策を講じた上で可能な限り実施する。
- ・感染拡大防止のための措置を講じても、安全な実施が困難な場合は、中止又は延期する。
※千曲市教育委員会、学校長で検討し、最終判断します。

【部活動】

- ・1日の活動時間は、2時間程度とする。
- ・感染リスクの高い活動(部員が密集密接となる活動)の実施は慎重に検討する。
※但し、北信越大会等の公式大会を控えている部活動については、最小限の活動とする。
- ・練習試合、合同練習会等を行う場合は、特に感染防止対策を徹底する。
- ・以下について、引き続き徹底すること。
 - 本人や家族が体調不良の際は、活動に参加しない。
 - 部活動前及び部活動中の健康観察を行う。
 - 部活動で使用する用具等(ボール、椅子、モップ)については、使用前後に消毒を行う。
 - マスクを外して行う活動については、手指から口へのウイルスの侵入を防ぐため、休憩時や練習メニューの切り替わり時、極力こまめに手洗い、手指消毒等を行う。
 - 体育館の出入り口の扉のドアノブ等、人の接触する機会が多い箇所は、こまめに消毒を行う。
 - ビブスや水分補給等の用具(ジャグタンク等)等については、共用使用は一切行わない。
 - 部室や更衣室等の利用に当たっては、少人数で短時間の利用とする。なお、あらかじめ飲食の禁止等を含め、利用方法について、使用する生徒と顧問で確認しておくこと。
 - 飛沫による感染防止の徹底を図るため、運動時以外のマスク着用を、再度徹底する。また、マスクの着用ができない場面ではタオル等で口を覆う。

○当面の間、レベル5「医療特別警報」が継続するものと想定されます。夏季休業明けに、計画されている3年生の修学旅行等については、今後の状況を注視し、実施の可否等について判断します。また、添付の長野県発出の「生徒・学生の皆さまとご家族等への3回目のワクチン接種のすゝめ」を、ご覧いただき、3回目未接種の方は、夏休み期間を活用し、改めて積極的なワクチン接種のご検討下さい。

生徒・学生の皆さまとそのご家族等への 3回目のワクチン接種のすゝめ



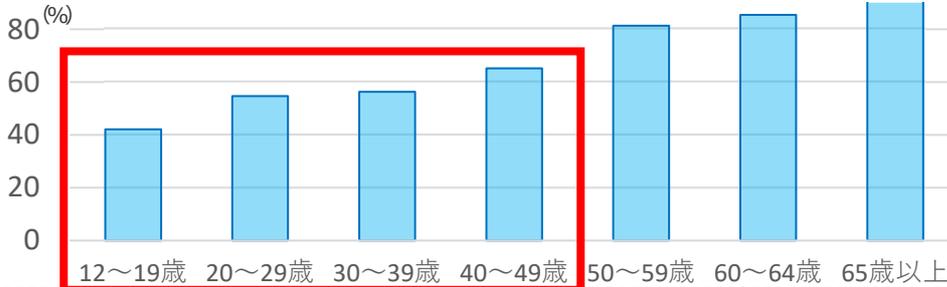
県内では、10～40代の新型コロナワクチン3回目の接種率は比較的低い状況です。

3回目未接種の方は、夏休み期間を活用し、改めて積極的なワクチン接種のご検討をお願いします。

【県内の年代別3回目接種状況】

※接種率は世代人口により算出（R4.7.25時点）

- ◆ 50代以上の年代では8割以上の方が3回目接種済
- ◆ 一方、40代は6割、20、30代は5割、10代は4割ほどの接種率



長野県内の感染状況

- ◆ 感染力の強いオミクロン株BA.5系統への置き換わり
- ◆ 新規陽性者数が急増、医療特別警報が発出
- ◆ 若者を中心に陽性者が急増

- これまでで最も感染リスクが高い状態
- 家庭内感染に注意が必要
- 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクが高い方へ接する際の感染対策が重要

日常生活を守るために

感染拡大による夏休み明けの授業や部活動といった学校生活への影響を可能な限り少なくするためにも、ワクチン接種をご検討ください。

家庭内での重症化リスクの高い方への感染や、家庭から職場、友人・知人等への感染拡大を抑えるためにも、ワクチン接種をご検討ください。

- 追加接種により、オミクロン株に対しても感染予防効果が回復することが報告されています

医療を守るために

現在、県内に医療特別警報が発出されています。重症化リスクの高い方等、必要な方が必要な時に医療を受けられる社会であるためにも、ワクチン接種をご検討ください。

- 追加接種により、オミクロン株に対する発症予防効果、重症化（入院）予防効果も回復すると報告されています。また、ご自身の症状を抑えることは入院による医療への負荷を防ぐことにもつながります。

ワクチンの副反応について（3回目接種後の症状）

- ・ 追加接種後の副反応の発生頻度は2回目接種とほぼ同じでした（75～80%）
- ・ 1回目・2回目接種の時と同様に接種翌日の報告が多いようです
- ・ 副反応のほとんどは軽度から中等度でした

出典：CDC:MMWR.October1,2021/70(39);1379-1384

※様々な理由により、ワクチンを接種することができない方もいらっしゃいます。接種の強要や、不利益な取扱いなど、ワクチン接種に関する差別を行うことのないよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ワクチン接種に関する不安や副反応について

長野県ワクチン接種相談センター

TEL 026-235-7380(24時間無休)
FAX 026-403-0320(土日祝日除く9:00～17:00)



(厚生労働省)



(長野県)

接種の予約について

市町村における接種の詳細については、お住まいの市町村へお問い合わせください。



長野県設置の
接種会場予約ページ